ニュースリリース
報道関係者各位

産經新聞社
2026 年 11 月 21 日

北欧の天才画家、日本初の回顧展
「ニコライ・アストルップ展」開幕
東京ステーションギャラリーで2027年1月31日まで

東京都千代田区の東京ステーションギャラリーで展覧会「ニコライ・アストルップ　創造する庭」が 11 月 21 日（土）開幕しました。２０世紀初頭のノルウェーで最も傑出した画家のひとりとして近年世界的に評価が高まっているニコライ・アストルップ（１８８０－１９２８年）の日本初となる回顧展です。油彩画だけでなく、版画やテキスタイルなどもくわえた 114 点を一挙に展示。庭師として土と向き合いながら、北欧の自然と暮らしを鮮やかな色彩と独自の表現で描いた芸術の全貌に迫ります。展覧会は来年 1 月 31 日（日）まで。

■ムンクと並ぶノルウェーの国民的画家



《ジギタリス》1920 年頃、DNB 貯蓄銀行財団／コーデ・ベルゲン美術館

ノルウェーではムンクと並ぶ国民的画家であるアストルップ。ムンクの 17 歳年下で同時代に活躍した彼は、オスロやパリで美術教育を受けたあと、故郷であるノルウェー西部の村・ヨルステルに戻り、47 歳で亡くなるまでこの地で豊かな自然や、夏至祭などの人々の暮らしを描き続けました。アカデミックで高度な技法を身に着けながらも、あえて素朴な筆致と独自のいきいきとした色彩で自身が愛した北欧の自然を表現しました。存命中から新時代の天才として高く評価され、ムンクにもその才能を称賛されたそう。没後 100 年近くたった今も、教科書の表紙に作品が掲載されるなど愛されています。

ニュースリリース
報道関係者各位

産經新聞社
2026 年 11 月 21 日

■油彩と組み合わせた独自の木版画

ひとつのモチーフを様々なアプローチで繰り返し描いたアストルップ。本展では《ジギタリス》や《夏至の祭火》など、彼が精魂込めて描き続けたモチーフが登場する代表作が集結します。また、庭師としても卓越した技量があった彼は、妻と 8 人の子供とともに湖畔の家で多種多様な植物を育てながら暮らしました。《大きな青い壺のある室内》など、アストルップが慈しんだ豊かな営みを伝える作品は、現代に生きる我々にも安らぎを与えてくれます。さらに、日本の浮世絵に影響を受けながら編み出した、木版画に手彩色を施して質感を深めた唯一無二の作品群も、何度も彫りを重ね彫刻作品のような迫力となった版木とともに紹介します。自らを〝この国で最も大地に根差した画家〟と呼んだ天才の豊かな世界をご堪能ください。



《夏至の祭火》1915 年、DNB 貯蓄銀行財団／コーデ・ベルゲン美術館



《大きな青い壺のある室内》1921-22 年、個人蔵

■開催概要

●**会　　期** 2026 年 11 月 21 日（土）～2027 年 1 月 31 日（日）
●**休 館 日** 月曜日（ただし 11 月 23 日、1 月 11 日、1 月 25 日は開館）、11 月 24 日（火）、
年末年始（12 月 28 日～1 月 2 日）、1 月 12 日（火）
●**開館時間** 10：00～18：00（金曜日は 20：00 まで）※入館は閉館 30 分前まで
●**入 館 料** 一般 1,800 円、高校・大学生 1,300 円　※中学生以下無料/障がい者手帳等持参の方は、
一般 1,300 円、高校・大学生 1,100 円（ともに介添者 1 名は無料）/学生の方はご入館の際、
生徒手帳・学生証をご提示ください
●**主　　催** 東京ステーションギャラリー（公益財団法人東日本鉄道文化財団）、産経新聞社
●**特別協力** DNB 貯蓄銀行財団
●**企画協力** コーデ・ベルゲン美術館
●**後　　援** ノルウェー大使館
●**協　　賛** T&D 保険グループ、DNP 大日本印刷、湖山医療福祉グループ銀座医院、産経デジタル
●**制作協力** S2
●**東京展 HP** **https://www.ejrcf.or.jp/gallery/exhibition/202611_astrup.html**
※全国巡回を予定。巡回地は決定次第発表